

「漢検」資格活用状況調査結果のご報告

全国の高校・高専の64%が入試等で「漢検」を評価・活用

評価・活用の目安は3級以上

公益財団法人 日本漢字能力検定協会(本部:京都市下京区/代表理事 理事長:久保浩史)は、2015年10月から12月の約3ヶ月間で、全国の高等学校および高等専門学校を対象に、「日本漢字能力検定(以下、漢検)」の入学試験や単位認定等における活用状況調査を実施しました。このたび、「漢検」を入学試験や単位認定などで評価・活用している高等学校・高等専門学校が5,440校中3,486校(64.1%)である等、調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

本調査は、文部科学省の「検定試験の評価の在り方に関する有識者会議」の提言を受けてとりまとめられた「検定試験の自己評価シート」にある「当該検定試験と学校教育や職業能力との関係性」の情報公開のためにおこなったものです。当協会では、学校教育課程や入学試験等での検定の活用状況について実態を把握するだけでなく、生徒や保護者、教員の方々への進路選択の参考や学習の励みになる情報、保有資格を積極的に活用するための情報を開示しております。

「漢検」を入学試験や単位認定などで活用している高等学校・高等専門学校は、その理由として、「基礎学力の証明になる(545校)」「学習意欲の指標になる(493校)」などと回答しています。また、活用する「漢検」の級を設定している高等学校・高等専門学校の多くが3級(中学校卒業程度)以上の級を設定しています。その他の調査結果の詳細は、当協会ホームページおよび次ページ以降の参考資料をご覧ください。

▼活用する漢検の級(級設定のある1,402校の内訳)
※複数の入試種別で活用している場合は、それぞれ校数に含む

設定級	活用校数
準1級(大学・一般程度)	3校
2級(高校卒業・大学・一般程度)	317校
準2級(高校在学程度)	236校
3級(中学校卒業程度)	722校
4級(中学校在学程度)	111校
5級以下	16校

高等学校および高等専門学校における「漢検」資格活用状況調査(2015年度調査)

■調査時期

2015年10月～2015年12月(発表日:2016年3月14日)

■調査・公表の目的

入学試験等における検定の活用状況についての実態把握と、生徒や学生、保護者、教員の方々への進路選択の参考や学習の励みになる情報、保有資格を積極的に活用するための情報の開示。

■調査対象

全国の高等学校5,440校

※『全国学校総覧 2015年版』掲載の高等学校・高等専門学校から、募集停止の学校を除き、新設校を加えた全国の高等学校・高等専門学校(当協会調べ)

■調査項目

- ・2016年度入学試験や単位認定等における「漢検」の評価または判断材料としての活用有無
- ・活用している入試種別、科目、対象級、活用の詳細

■調査方法

調査用紙を発送したうえで、FAX・電話で回答を得る。

■調査結果

回答校数: 高等学校・高等専門学校4,224校(回答率 77.6%)

活用校数: 高等学校・高等専門学校3,486校

詳細情報: <http://www.kanken.or.jp/kanken/investigation/highschool.html>


※掲載校数は、学校側の掲載・削除の要望等により変更する場合があります。

《本件に関する報道関係の方々のお問い合わせ先》

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 PR担当: 時田(ときた)

TEL: 03-6385-8740 (固定) 090-2109-9089 (携帯) MAIL: koho-c@kanken.or.jp (PC)

《一般の方々のお問い合わせ先》

お問い合わせ窓口  0120-509-315 (無料/受付時間 月～金 9:00～17:00 祝日・お盆・年末年始を除く)

(参考資料-1)

漢検

以下は、高等学校・高等専門学校に対して『漢検』資格活用状況調査用紙を送付し、その回答内容をまとめたものです。教育委員会からのご回答や教育委員会ホームページからの情報を抽出して掲載している都道府県もあります。各学校における詳細な要件につきましては、必ず当該高等学校・高等専門学校の募集要項・学校案内などをご確認ください。

■回答状況

調査対象校数	回答校数	回答率
5,440 校	4,224 校	77.6%

※調査対象:『全国学校総覧 2015年版』掲載の高等学校・高等専門学校から、募集停止の学校を除き、新設校を加えた全国の高等学校・高等専門学校(当協会調べ)。

■活用校数

活用校数	入試関連	入試以外
3,486 校	3,166 校	780 校

■入試種別 (複数の入試種別で活用している場合は、それぞれ校数に含む)

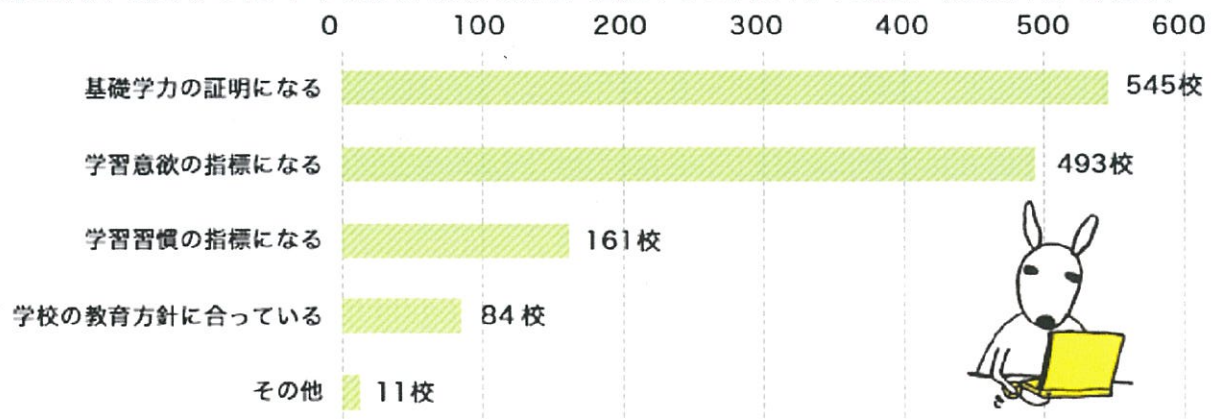
一般入試	推薦入試・AO入試	その他	不明
1,637 校	1,606 校	1,123 校	667 校

■活用する「漢検」の級 (複数の入試種別で活用している場合は、それぞれ校数に含む)

級設定あり	1,402 校
級設定なし	959 校

設定級	活用校数※
準1級(大学・一般程度)	3 校
2級(高校卒業・大学・一般程度)	317 校
準2級(高校在学程度)	236 校
3級(中学校卒業程度)	722 校
4級(中学校在学程度)	111 校
5級以下	16 校

■「漢検」を評価・活用する理由 (「貴校が漢検を評価・活用する理由は何でしょうか(複数回答可)」より)



■活用の種類別内訳 (回答内容より分類)

出願要件	試験免除	点数加算 (点数化)	考慮・参考	経済的優遇	単位認定	その他	不明・非公表
159校	10校	608校	1,852校	34校	567校	843校	69校

※複数の種類で活用している場合は、それぞれ校数に含む

出願時

<出願要件>
実績や資格を
出願要件のひとつとする。
もしくは、資格取得者は
出願要件を緩和する。

- 推薦入試などで漢検3級を
中心に準2級～4級以上取得
を出願要件としている学校が
多く見られました。

<試験免除>
入学試験の一部を免除する
要件のひとつとする。

- 漢検3級以上取得を要件
としている学校が見られました。

入試・選考

<点数加算>
(点数化)
実績や資格を点数化し試験や
出願書類の得点に加算する。

- 具体的な取得級設定のある
学校が多く、3級を中心に
準2級～4級以上の設定が
多く見られました。
級によって加算する得点を
段階的に設定している学校も
多いようです。

<考慮・参考>
選抜の際の総合判断の材料や
学習意欲を測る資料、
自己PR資料のひとつとして
取り扱う、又は参考にする。

- 漢検3級以上取得を設定して
いる学校と、取得級設定の
ない学校が見られました。

入学時・在学中

<経済的優遇>
特待生入試への出願条件や、
受験料や入学金の減免が受けら
れる条件、入学後に経済的援助
を申請できる条件。など

- 主に私立高校で漢検3級以上
取得を条件としている学校が
見られました。

在学中

<単位認定>
漢検資格について、
単位認定を行っている。

- 漢検取得2級～3級以上に
ついて段階的に単位数を設定
している学校が見られました。
単位として認めている科目は
国語科系の科目や、一般教科、
学校外学修等が多いようです。

各都道府県での評価・活用校は、漢検ホームページで検索できます。
URL: <http://www.kanken.or.jp/kanken/investigation/highschool.html>

(2016年3月14日発表・当協会調べ)